

都市エリア産学官連携促進事業の概要

(1) 目的・趣旨

地域の個性発揮を重視し、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成等を目指して産学官共同研究等を実施

(2) 平成19年度予算額45億円(平成18年度予算額40億円)

(3) 事業概要

- ・ 個性発揮、地域特性を重視し、特定領域への分野特化
- ・ 都道府県及び政令指定都市が指定する中核機関が事業の実施主体
(平成18年度から、地域の自立性を高めるため、地域の資金負担が必要なマッチングファンド方式に移行)
- ・ 各都市エリアの事業目標、産学官連携実績等に応じて、産学官の連携基盤整備から研究成果育成まで幅広いメニューで対応
- ・ 以下の3タイプの事業を実施
 - ・ 発展型(事業規模の目安は年間2億円程度×3年)
 - ・ 一般型(事業規模の目安は年間1億円程度×3年)
 - ・ 連携基盤整備型(事業規模の目安は年間5千万円程度×3年)

